

「音楽」（おんがく）学習指導案

1. 日時 令和6年11月19日（火） 第3時限（10:35～11:15）

2. 場所 小学部 教室

3. 学部・学年・組 小学部

4. 単元（題材）名 「友だちと一緒に音楽を楽しもう！」

5. 単元（題材）目標

- ・音楽を見聞きしながら、楽器を鳴らしたり身体を動かしたりする。〈知識及び技能〉
- ・音楽に気付き、自分なりの方法で表現する。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・音楽を通して、友だちや教師と一緒に楽器を鳴らしたり、身体を動かしたりする楽しさを感じる。〈学びに向かう力、人間性等〉

6. 児童観

本学級は、主に特別支援学校学習指導要領における1段階の児童だが、障がいの状態は様々で、発達段階にも幅がある。

コミュニケーションに関しては、言葉でやりとりができる児童、発語のある児童、指差しや絵カードで思いを伝える児童がいる。1人遊びを楽しむ発達段階の児童が多く、自立活動では人間関係の形成に重点を置いている。夏休み前頃から、友だちと追いかっこをしたり、リトミックの『マイムマイム』では手を繋いで身体を動かしたりする等、友だちと関わる場面も少しずつ見られるようになってきた。

音楽に関しては、興味をもって取り組める児童が多い。手遊びでは、動きの模倣をしたり、歌の一部と一緒に歌ったりする児童がいる一方で、身体模倣が難しい児童もいるが、教師と一緒に身体を動かし、繰り返し練習を重ねることで、少しずつ表現することができるようになってきた。

4月から、タンバリンや鈴、手づくりのマラカスを使って器楽を行っている。楽器の鳴らし方を知ることや、曲を聴きながら楽器を鳴らすことを目標に取り組んできた。教師が手本を示すと1人で楽器を鳴らすことができる児童や、楽器を自由に鳴らして楽しんでいる児童がいる。また、手づくりのマラカスができあがると、自ら音を出してみたり、自分でつくった楽器に親しみをもって遊んだりする姿が見られた。

7. 教材観

本単元は、特別支援学校学習指導要領小学部音楽の1段階の目標である（ア）「音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。」、（ウ）「音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。」にねらいをおき、内容A表現ア「（ア）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。」、「（ウ）①音や音楽を感じて楽器の音を出す技能」を取り上げる。

本単元は秋に実施するため、季節を感じられる曲を中心に設定し、鑑賞の題材では、『どんぐりころ

ころ』を取り扱う。学級の児童に親しみのある曲であり、よく見聞きしてきたことから、歌いたいという気持ちを引き出しやすい曲である。また、どんぐりは児童にとって身近な自然物であり、秋の季節を感じることもできると考える。

器楽の題材では、『山の音楽家』を取り扱う。『山の音楽家』は、「ピピピッピッピ」等、楽器の音やリズムが歌詞になっているため、鳴らす部分がわかりやすい。また、「わたしゃ音楽家やまの〇〇～」の部分で児童の名前に変えて歌うことで、友だちへの関心をもつことができると考える。楽器は、タンバリン、鈴、小太鼓、カスタネットを使用する。様々な楽器に触れることや、いくつかの中から好きなものを選んで演奏することをねらいとし、比較的馴染みのありそうなこの4種を用いる。

身体表現の題材では、『証城寺の狸囃子』を取り扱う。曲調がゆっくりで繰り返しのフレーズが多いことや、「ぼんぼこぼんのぼん」の擬音と動きとの繋がりがわかりやすいため、音楽を聴いて身体を動かしやすいと考える。また、リズムがわかりやすく、タイミングがとりやすいので、友だちや教師と一緒に身体を動かすことにも適していると考えられる。

8. 指導観

本単元の指導において、音楽を聴きながら歌や楽器等で表現する楽しさや、その楽しさを友だちや教師と一緒に感じることができるよう、児童が表現できたことやしようとする様子を積極的に褒めたり、友だちと活動する場面をできるだけ多く設定したりする。活動については、鑑賞、器楽、身体表現の3つに取り組む。児童が授業の流れを知り、活動に見通しをもつことができるように、授業の始めにスケジュールを提示する。スケジュールは、活動内容を言葉とイラストで書いたカードを並べ、1つの活動が終われば花丸カードを貼ることで、授業の進行具合がわかるようにする。

鑑賞では、ペープサートや映像に注目する姿勢や、曲を聴きながら歌ったり身体を動かして表現したりする姿を引き出したい。最初に、児童が曲の内容をイメージすることができるように、歌詞を反映させたペープサートを示し、次に、映像で『どんぐりころころ』を見聞きする。その後、歌を歌ったり身体を動かしたりと、理解したことを自分なりに表現するように促していく。児童が音楽に気付き、自分なりの表現ができるように、表情や目線等の小さな表現・反応も大切にしていきたい。

器楽では、楽器を自分で持ち、音を出す技能を身に付けさせたい。楽器の持ち方を確認し、鳴らし方がわかるように、まず教師が大きい身振りで手本を示す。また、「タンタンタン」等、リズムを擬音語で伝えることで、楽器を鳴らすタイミングがわかるようにする。決まったリズムはあるものの、正確なリズムで音を鳴らすことよりも、児童が主体的に音を出すことを大切に評価したい。さらに、今回の器楽では、複数人で一緒に楽器を鳴らす場面も設定した。友だちの存在を少しでも意識し、一緒に演奏することを楽しめるようにしたい。

身体表現では、音楽が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす楽しさや喜びを感じられるようにしたい。身体表現の手本は、映像で示すと注目しやすいため、事前に手本映像を準備する。友だちと関わりながら体を動かすことができるように、友だちと手を繋ぐ等、振付を工夫した。振付をわかりやすいように言語化したり、「せーの」等、友だちと動きを合わせやすいように言葉かけをしたりする。楽しい雰囲気の中で活動できるよう、教師が楽しそうに活動することを心掛け、「一緒にやってみよう」という意欲に繋げたい。

振り返りでは、活動の予定カードと感想カードを用意し、児童がカードを選んで伝えられるようにする。言葉で発表することが難しい児童の場合は、選んだカードを教師が代わりに言葉にして発表を支援する。1人で発表できる児童は、自分の言葉で発表するよう促す。児童自身の発表後、達成感や満足感をもてるように教師が1人ひとりの輝いていた場面を紹介し、次の活動も楽しめるようにしたい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① ペープサートや映像に気づき、注目して見聞きしている。（鑑賞） ② 楽器の鳴らし方がわかる。（器楽） ③ 手本を見聞きし、教師と一緒に身体を動かしている。（身体表現）	① 映像を見聞きしながら、歌を歌ったり、声を出したり、身体を動かしたりしている。（鑑賞） ② 自分で使いたい楽器を選び、鳴らしている。（器楽） ③ 自分なりに身体を動かして表現している。（身体表現）	① 音楽を楽しみながら、自分なりに表現しようとしている。（鑑賞） ② 音楽を聴きながら、自ら楽器の音を鳴らそうとしている。（器楽） ③ 友だちや教師と一緒に身体を動かすことを楽しんでいる。（身体表現）

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全5時間、本時は第4時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 音楽から秋の季節を感じる。 歌詞が表すものについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を反映させたペープサートを示し、歌のイメージがもてるようにする。 注目して見るように促す。 	A①
		<ul style="list-style-type: none"> 楽器の持ち方や鳴らし方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 『山の音楽家』を聴きながら、楽器を自由に鳴らす。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の名前や鳴らし方を説明する。 楽器の持ち方や鳴らし方を示す。 	A②
		<ul style="list-style-type: none"> 手本を見聞きし、教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 『証城寺の狸囃子』が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きを言語化したり、一緒に身体を動かしたりする。 	A③ B③
2		<ul style="list-style-type: none"> 音楽から秋の季節を感じる。 歌詞が表すものについて知り、自分なりの方法で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を反映させたペープサートを示し、歌のイメージがもてるようにする。 注目して見るように促す。 曲に合わせて身振りで表現する手本を示す。 	A① B①
		<ul style="list-style-type: none"> 楽器の持ち方や鳴らし方を知る。 自分なりの方法で楽器を鳴らす。 	<ul style="list-style-type: none"> 『山の音楽家』を聴きながら、楽器を自由に鳴らす。 使いたい楽器を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の持ち方や鳴らし方を示す。 使いたい楽器を選びやすいように並べる。 	A② B②
		<ul style="list-style-type: none"> 手本を見聞きし、教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 『証城寺の狸囃子』が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きを言語化したり、一緒に身体を動かしたりする。 	A③ B③

2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞が表すものについて知る。 ・声を出すことや手を動かすこと等の表現方法を知る。 ・自分なりの方法で楽器を鳴らす。 ・友だちと一緒に楽器を鳴らす経験をする。 ・手本を見聞きし、自分なりに身体を動かして表現する。 ・リズムや歌詞と動きの関わりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きし、自分なりに表現する。 ・『山の音楽家』を聴きながら、友だちと一緒に楽器を鳴らす。 ・使いたい楽器を選ぶ。 ・『証城寺の狸囃子』が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を反映させたペープサートを示す。 ・見聞きしながら、発声や身振りで表現するように促す。 ・鳴らし方やリズムがわかりやすいように、身振りを大きくして手本を示す。 ・友だちの音を聴いたり、友だちの様子に注目したりするよう促す。 ・動きを言語化したり、手本を大きく示したりする。 ・友だちと関われるように、「手を繋ぐ」等、一緒にできる動作を言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> B① C① A② B② B③
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出したり手を動かしたりする等、自分なりの方法で表現する。 ・友だちと一緒に楽器を鳴らすことの楽しさを感じる。 ・音楽が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす楽しさを感じる。 ・リズムや歌詞と動きの関わりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きし、歌ったり、声を出したり、手を動かしたりする。 ・『山の音楽家』を聴きながら、友だちと一緒に楽器を鳴らす。 ・『証城寺の狸囃子』が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を反映させたペープサートを示す。 ・見聞きしながら、発声や身振り等で表現するように促す。 ・鳴らし方やリズムがわかりやすいように、身振りを大きくして手本を示す。 ・友だちの音を聴いたり、友だちの様子に注目したりするよう促す。 ・動きを言語化したり、手本を大きく示したりする。 ・友だちと関われるように、「手を繋ぐ」等、一緒にできる動作を言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> B① C① A② C② A③ B③ C③
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出したり手を動かしたりする等、自分なりの方法で表現する。 ・友だちと一緒に楽器を鳴らすことの楽しさを感じる。 ・音楽が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす楽しさを感じる。 ・リズムや歌詞と動きの関わりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きし、自分なりに表現する。 ・『山の音楽家』を聴きながら、友だちと一緒に楽器を鳴らす。 ・『証城寺の狸囃子』が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を反映させたペープサートを示す。 ・見聞きしながら、発声や身振りで表現するように促す。 ・鳴らし方やリズムがわかりやすいように、身振りを大きくして手本を示す。 ・友だちの音を聴いたり、友だちの様子に注目したりするよう促す。 ・動きを言語化したり、手本を大きく示したりする。 ・友だちと関われるように、「手を繋ぐ」等、一緒にできる動作を言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> B① C① B② C② A③ B③ C③

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

〈知識及び技能〉

- ・楽器を鳴らしたり、音楽を聴きながら身体を動かしたりする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・ペープサートや映像を見聞きしながら、自分なりの方法で表現する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・友だちや教師と一緒に音楽活動を楽しみ、自分から楽器を鳴らしたり身体を動かしたりしようとする。

(2) 本時の評価規準

〈知識・技能〉

- ・楽器を鳴らしたり、音楽を聴きながら身体を動かしたりしている。 …A②③

〈思考・判断・表現〉

- ・ペープサートや映像を見聞きしながら、歌を歌ったり、声を出したり、身体を動かしたりして、自分なりに表現している。 …B①③

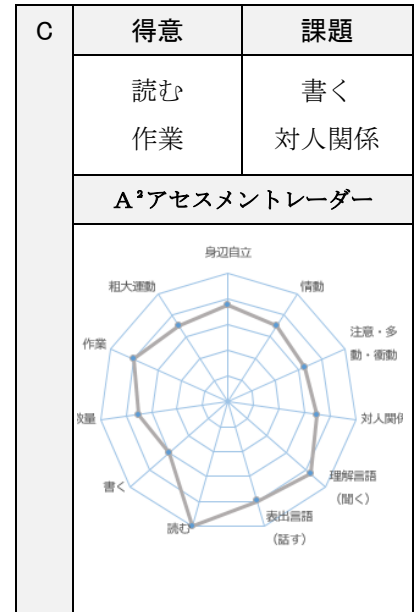
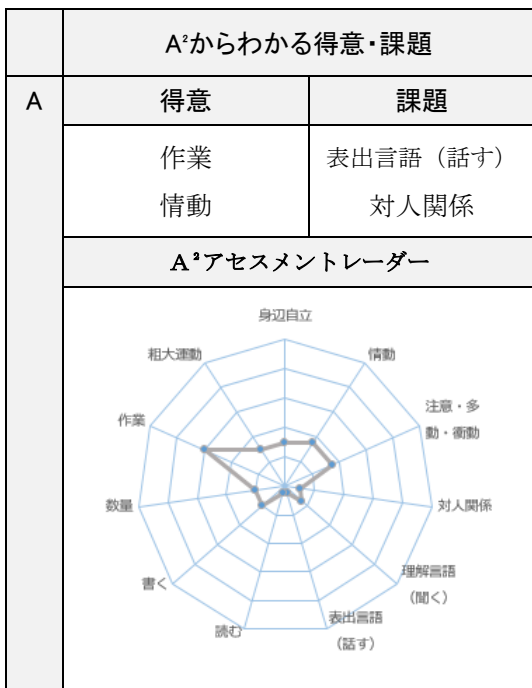
〈主体的に学習に取り組む態度〉

- ・友だちや教師と楽しみながら、楽器を鳴らしたり、手を繋いで一緒に身体を動かそうとしていたりしている。 …C①②③

(3) 本時で扱う教材・教具

大型モニター、HDMIケーブル、接続コネクタ、タブレット端末、スピーカー、本時の予定カード、花丸カード、ペープサート、タンバリン、鈴、小太鼓、カスタネット、感想カード

(4) 児童生徒の実態と本時の目標



(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
5分 導 入	<p>① はじめのあいさつ ・当番の児童は前に出てあいさつをする。 <u>授業の始まりを意識する。</u></p> <p>② 学習内容の確認 ・提示された学習内容を見る。 <u>本時の予定を聞き、見通しをもつ。</u></p> <p>③ はじまりのうた『ガンバリマンのうた』 ・名前を呼ばれたら、タンバリンを叩く。 <u>楽器を使って名前呼びに応える。</u></p>	<p>・姿勢を整えるように促す。</p> <p>・ホワイトボードに予定を示し、見通しをもてるようにする。</p> <p>・1人ずつ名前を呼び、音楽が始まることを意識できるようにする。</p>	A②
30分 展 開	<p>④ みる・きく・うたう『どんぐりころころ』 ・『どんぐりころころ』のペープサートや映像を見聞きする。 <u>ペープサートや映像に注目する。</u></p> <p>・映像を見聞きしながら、歌を歌ったり、声を出したり、身体を動かしたりする。 <u>映像を見聞きしながら、自分なりの方法で表現する。</u></p> <p>⑤ がっき『山の音楽家』 ・好きな楽器を選び、2人ずつ前に出て鳴らす。 <u>楽器の鳴らし方がわかり、音楽を聴きながら自分で鳴らす。</u></p> <p>・全員で楽器を鳴らす。 <u>友だちと一緒に表現する楽しさを感じる。</u></p> <p>⑥ ダンス『証城寺の狸囃子』 ・手本の映像を見聞きする。 ・曲を聴きながら身体を動かす。 <u>音楽が流れる中で、友だちや教師と一緒に身体を動かす楽しさを感じる。</u></p>	<p>・歌詞に合わせてペープサートを示す。ペープサートや映像に注目するように促す。</p> <p>・発語のある児童には、声を出して歌うように促す。発語のない児童には、「ころころ」や「こんにちは」等を身体で表現できるように、手本を示して促す。</p> <p>・楽器を選びやすいように並べる。 ・楽器の持ち方を確認する。 ・楽器の鳴らし方の手本を示す。手本は、鳴らし方を模倣しやすいように、大きい身振りで示したり、リズムを「リンリンリン」等と言葉で伝えたりする。</p> <p>・楽器を鳴らす前に合図をしたり、リズムを大きい身振りで示したりする。 ・楽器を鳴らすことができていない児童がいる場合は、その児童の近くで鳴らし方を示す。 ・それぞれの児童が表現できていたことを伝え、全員で演奏できた楽しさや達成感を感じられるようにする。</p> <p>・手本の映像を準備する。 ・友だちと一緒に取り組めるように言葉かけをする。 ・動き方の手本を示したり、動き方を言語化して伝えたりする。</p>	B① C① A② C② A③ B③ C③

<p>5分</p> <p>ま と め</p>	<p>⑦ ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定カードと感想カードを選び、発表する。 <p><u>自分の気持ちを、言葉やカードを使って伝える。</u></p> <p>⑧ おわりのあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番の児童は前に出てあいさつをする。 <p><u>授業の終わりを意識する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想カードを用意する。 ・児童の選んだ感想カードを言葉にして、発表の支援をする。 ・それぞれの児童の頑張っていたことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を整えるように促す。 	
--------------------------------	--	---	--